



# 次期 香川県水産業基本計画 素案について

基本目標：瀬戸内海の恵みがもたらす笑顔あふれる水産業の創造




**基本方針1：旬を楽しむ水産物の生産と消費の創出** 本県海域の様々な環境の下で育まれた地魚やオーブブランドの養殖魚など、瀬戸内海の恵みを生かしながら、旬を楽しむ生産と消費をめざす

展開方向	1. 魅力ある養殖水産物づくり	2. 地魚の供給強化	3. 戦略的な販売・消費拡大
施策	<p>① 魚類養殖の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ オーブ水産物のブランド力強化</li><li>○ デジタル技術の活用による省力化</li></ul> <p>② 貝類・藻類養殖の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ クロノリ・アオリ養殖の食害や色落ち対策</li><li>○ 漁場環境に配慮した貝類養殖業の推進</li></ul> <p>③ 養殖水産物の技術開発</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 新たなオーブ水産物づくり</li><li>○ 養殖用種苗・種網づくり</li></ul>	<p>① 栽培漁業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 放流事業への支援、効果的な放流手法</li><li>○ 優良種苗の安定供給</li></ul> <p>② 地魚の資源調査・技術開発</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ マダコ、タイラギ、ナマコ等の種苗生産技術の確立</li></ul>	<p>① 多様なニーズをとらえた売れるしくみづくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 国内外への販路拡大、水産エコラベル等認証取得</li><li>○ 地産地消の推進、ネット通販の促進、6次産業化・農商工連携</li></ul> <p>② 積極的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ ソーシャルメディアを活用した多様な情報発信</li><li>○ 関係団体と連携した県内外への魅力発信</li></ul> <p>③ 食育・料理教室による家庭への理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 学校給食の活用、食育教室等の開催</li><li>○ オンライン式などの新しい生活様式に対応した食育活動</li></ul>
	指標	<ul style="list-style-type: none"><li>■ オーブ水産物の生産尾数 130.0万尾 → 141.4万尾</li><li>■ クロノリ1柵あたりの生産枚数 4,547枚/柵 → 4,547枚/柵</li></ul> 	<ul style="list-style-type: none"><li>■ キジハタ種苗生産尾数 658千尾 → 686千尾</li><li>■ 魚介類の増殖技術開発件数 0件 → 3件</li></ul> 


**Topic 1：デジタル技術の活用**

- ★ 養殖現場でのICT等による省力化
- ★ リアルタイム情報収集機器等による資源調査の効率化
- ★ ネット通販の促進、ソーシャルメディアの活用
- ★ 漁場監視等におけるドローン等の活用
- ★ 漁獲量等の報告におけるデジタル化



**Topic 2：新たな技術開発への取組み**

- ★ 新たなオーブ水産物の開発
- ★ 讃岐さーもの優れた県産の養殖用種苗づくり
- ★ アオリの高品質な種網生産技術の開発
- ★ マダコ・タイラギ等の種苗生産技術の確立


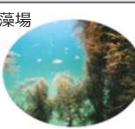


**Topic 3：新たな資源管理体制の構築**

○ 国は、適切な資源管理と水産業の成長産業化を両立するため、漁業法等の大幅改正を行いました（平成30年12月公布、令和2年12月施行）。

- ★ 特定水産資源について、漁獲可能量による管理の導入に向けた取組み
- ★ 適切な資源管理に向けた、資源評価の対象種拡大・精度向上に対応

**基本方針2：未来へつなぐ水産基盤と漁場環境の創造** 漁村の集落機能等を維持するため、基幹産業となっている水産業について、将来に向けて安定的かつ持続的に発展していくことをめざす

展開方向	4. 未来を担う漁業経営の育成	5. 豊かな漁場環境の創造	6. 水産資源の持続的利用	7. 水産業・漁村の多面的機能の維持・発揮
施策	<p>① 水産業を支える人・地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 「かがわ漁業塾」による就業サポート</li><li>○ 就業の定着に向けた地域づくり</li><li>○ 地域を支える女性の活躍推進</li></ul> <p>② 漁業経営安定対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 漁業収入安定対策事業等の利用促進</li><li>○ 制度資金等の活用</li></ul>	<p>① 漁場・藻場・干潟の創造・再生・保全</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 藻場造成の推進</li><li>○ 海ごみ回収等の漁場保全活動の促進</li></ul> <p>② 漁場監視・漁業被害防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 漁場環境監視と迅速な情報提供</li><li>○ 赤潮・貝毒監視</li><li>○ カワウ等の有害生物の駆除対策</li></ul>	<p>① 新たな資源管理体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 漁獲可能量による管理の導入に向けた取組み</li><li>○ 漁獲量等の報告におけるデジタル化</li></ul> <p>② 円滑な水面利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 漁業秩序の維持</li><li>○ 操業安全、救命胴衣着用促進</li><li>○ 遊漁者への海面利用のマナー等の意識啓発</li></ul>	<p>① 漁港・漁業関連施設等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 漁港施設等の長寿命化</li></ul> <p>② 漁村の防災対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 地震・津波対策や防災訓練等の充実</li></ul> <p>③ 漁村の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 漁村の有する多面的機能の維持・発揮</li><li>○ 交流・関係人口の創出・拡大</li></ul>
	指標	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 新規漁業就業者数 149人 → 165人</li><li>■ 漁協女性部連合会の活動回数 78回 → 90回</li></ul> 	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 藻場造成面積 124 ha → 129 ha</li><li>■ 海ごみ回収を実施する活動組織 6組織 → 11組織</li></ul> 	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 漁獲成績報告のデジタル化に対応した市場数 0市場 → 10市場</li><li>■ 操業安全講習会の開催 4回 → 5回</li></ul> 